



第21-61号

2022年1月7日

ペットボトルの水平リサイクル「ボトル to ボトル」で資源循環サイクルの実現を目指す！
1月12日、本厚木駅東口にリサイクルステーションを設置します
～神奈川県などと連携し、お客さまにご協力いただきながら、限りある地球資源を有効活用～

小田急電鉄株式会社（本社：東京都新宿区 社長：星野 晃司）は、2022年1月12日（水）、小田急線本厚木駅東口改札内に「リサイクルステーション」を設置し、使用済みペットボトルを新たな飲料用ペットボトルにリサイクルする「ボトル to ボトル」に向けた取り組みを、神奈川県内で初実施します。

リサイクルステーションとは、使用済みペットボトルから飲み残しを除き、ボトル本体・キャップ・ラベルに分けて回収する3分別に有効な回収ボックスです。

今回の取り組みは、商業集積等のあるベッドタウンの本厚木において、神奈川県と一般社団法人全国清涼飲料連合会などからなる「かながわペットボトルモデル事業推進コンソーシアム」と連携して実施するもので、駅をご利用いただくお客さまに協力いただきながら、資源循環サイクルの実現を目指します。

なお、1月12日（水）から2月28日（月）までの間は、3分別の状況やボトルへの異物混入率など回収状況を精査し、今後のリサイクルステーションの展開方針等を検討する予定です。

当社と神奈川県は、2019年7月に「SDGs 推進に係る連携と協力に関する協定」を締結しており、本施策はその一環として取り組みます。また、当社は多くの方にご利用いただく鉄道事業者、ペットボトル飲料の販売者として、SDGs 目標12「つくる責任 つかう責任」に向き合い、この取り組みを推進しています。

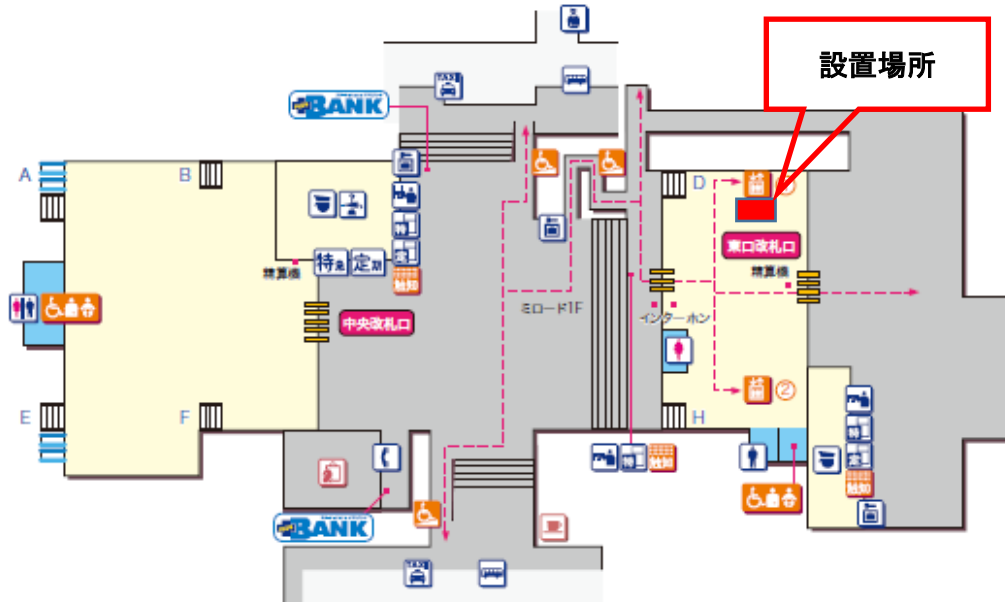


新宿駅でのリサイクルステーション設置の様子（2021年3月）

「本厚木駅東口にリサイクルステーション設置」の概要は、下記のとおりです。

記

- 1 設 置 日 2022年1月12日（水）
- 2 設 置 場 所 小田急線本厚木駅 東口改札内



- 3 分 別 内 容
 - ・キャップ・・・ペットボトルのキャップ
 - ・飲み残し・・・容器の中に残った飲料水
 - ・プラスチック・・・ペットボトルのラベルを含む、プラスチック類
 - ・ペットボトル・・・ペットボトル

以 上